



子育て応援倶楽部いずみん



(特活)せんだい杜の子ども劇場

理事 渡辺 道代

「子育て応援倶楽部いずみん」は、泉区で子育てや子育て支援に取り組む団体・個人（育児サークル、育児サロン、食育推進団体、子育て支援センター、児童館・児童センター、のびすく泉中央、主任児童委員、子育て支援NPO団体など）が区と協働で子育てを応援している団体です。平成23年に泉区家庭健康課の呼びかけで集まった地域子育て交流会から発展し、平成25年に「子育て応援倶楽部いずみん」となりました。

活動の柱の一つ「地域子育て交流会」では、講習会やワールドカフェなど様々な仕掛けで、いろいろな立場や幅広い世代から集まった「いずみん」参加メンバー同士の交流を深め、それぞれの活動を充実させ、ひいては孤立しない子育てをできる環境作りを目指しています。もう一つの柱「いずみおやこフェスティバル」は、「いずみん」とそれぞれの活動を区民に広く知って貰う場で、今年も10月25日(水)、七北田公園体育館での開催に向けて準備中です。子育て中のママたちに子育てを通じて繋がる楽しさを知ってほしくて、「ママ部」のメンバーを募集し、フェスの中で親子が楽しめるコーナーを企画して貰う取り組みもしています。

ところで、平成16年から4年間、泉区版子育て情報誌「子育てのいずみ 親と子のほっとマップ」が区保健福祉センターや児童館、小児科医院などで配布されたことを覚えている方はいらっしゃいますか。それ以前、区の保健師を仲立ちに育児サークルの交流を目的とした会がありましたが、平成16年に、育児サークルの交流とその活動の支援、泉区内によりよい子育て環境を作っていくことを目的として設立したのが「子育てのいずみ」でした。

活動の中心は育児サークル交流会の開催で、サークル運営上の悩みを共有し、情報交換をしました。その中で出された一つの課題解決のために立

ち上げたのが、「ほっとマップ」作成委員会で、平成16年から4年間（3年間は区の助成金あり）、「ほっとマップ」を発行しました。その課題とは、「地域の育児グループや育児支援団体の情報、公的な子育て支援サービスに関する情報をどこで集めたらいいのか、自分たちの活動を知ってもらいたいけどどうしたらいいのかわからない。」というものでした。当時の助成金申請書には「ほっとマップは、地域の中で居場所があることを知り、孤立しない安心して子育てをする助けとなる」、「地域の中で自主的に活動している育児サークルや育児支援団体は、地域を子どもたちの「ふるさと」と考え、地域の課題を自分たちの課題として解決していく力が育つ草の根的な場。ほっとマップはそのような団体の広報を広く行うことで、その活動を支援することができる」、「ほっとマップを発行することで、子育てに関する情報がスムーズに流れ、必要とする人のところに届くような新しい仕組みを泉区に作ることの必要性を理解してもらうことができる。」と書かれています。

私たちほっとマップ作成委員会が「ほっとマップ」に託した役割を、今「いずみん」が担い、紙の上だけでなく実際に人が集まって交流するようになったことは、数年のブランクがあったものの、自然の流れだったように思います。子育て支援に携わる方々が胸に秘める熱い思いや知恵がなければ叶わなかったことでもあります。そして、現在子育て中のママたちの新しい感覚と行動力が加わりました。課題は次々と出てきますが、熱い思いや知恵が結集する力が区行政と区民との協働が途絶えることなくあれば、これからも「いずみん」は人と人とをつないで進化し続けていくと信じています。

